

2019年度「取締役会実効性評価」の結果（概要）

株式会社不動テトラ

当社は、2019年度の「取締役会実効性評価」を実施しましたので、その結果（概要）を次の通り開示します。

1. 評価の方法・手順

当社は、取締役会の実効性の分析・評価にあたり、取締役会の開催・運営状況（日時、出席者数、議題、所要時間、発言回数等）及び取締役に対する質問票の回答による自己評価を踏まえ、取締役会議長が評価をとりまとめたうえ、取締役会でレビューを実施しました。

2. 評価結果の概要

取締役会の構成、運営、役割及び合意形成のプロセス並びに取締役の貢献、チームワーク、ステークホルダーとのコミュニケーション、コーポレートガバナンスに関する方針等、前回の評価結果の課題の実践、指名報酬諮問委員会の活動、監査環境の整備などの評価項目について、評価基準に照らし評価した結果、当年度は概ね適切であり、全般的に改善が進んでいると認められるものの、取締役会として、前年度に掲げた一部の課題について引き続き改善が必要であると判断し、次年度以降の課題、改善すべき事項として、後記3.の通り、共通の認識を形成しました。

3. 次年度以降の課題

取締役会として共通の認識とした次の課題について、次年度以降、以下の通りその改善及び対応を進めてまいります。

① 企業戦略や経営リスクの共有と迅速・果断な意思決定に向けた取組みの促進

中期経営計画最終年度にあたり「有形無形の経営資源への戦略的投資及び収益基盤の多様化」を積極的に実行しつつ、次期中期経営計画の立案において将来のあるべき姿や企業戦略、経営リスクを十分に審議し、それを共有することで取締役会の迅速、果断な意思決定を促進する。

② ESGに係る取組みのさらなる充実

中期経営計画の基本方針で掲げた「ESGを基本としたCSR経営の推進」を踏まえ、当社の強みを活かした取組みを展開し、これを投資家とのエンゲージメントを含め社外へ積極的に発信する。

以 上